

小学校学区再編に関する懇談会（保護者対象）の内容について

1 開催目的

「あすの川西町の小学校を考える協議会」における、今後の検討・協議を行う上での参考とするため、各幼児施設（公私6施設）及び小学校（8校）の保護者を対象に懇談会を開催し、意見・要望等を聴取するため実施した。

2 開催期間 9月7日から11月5日まで

3 参加者 総数 211名（14施設） 参加率 22.3%

4 懇談内容

懇談会資料により事務局から説明し、質疑・意見・要望等を受け懇談を行った。

5 懇談内容

*全体的に見て

・将来的な統廃合の考え方について、保護者からは異論はなく、児童の推移（見込み）を見るとやむなしという意見が多かった。早い段階から児童の交流機会を充実し、時間をかけながら進めてほしい。

※推進意見

- ①早急にやってほしい（2年生の母親）。うわさでは5年後とか、情報がいっぱい入ってくる。反対しているのは、高山地区だと聞いている。（高山小）
- ②上の子が小松小2年、下の子が保育所でお世話になっている。小松小は町内で規模の大きい方だが、TTで指導してもらっている。放課後も個別学習をして頂いている。大規模だからといっても、きめ細やかな対応となっている。2校案に賛成。玉庭小などの過小規模から中学校に入る場合の子供たちの影響も考えられる。早めに2校にし、先生方の共通認識のもとで、学校生活を送ってほしい。複式学級も増えており、早めの対応が必要ではないか。（小松保）
- ③人数の減少をデータで見ると、学年に1人とか2人になれば、統合して大きな学校で友達を作ってほしい。やるのであれば早めに進めてほしい（学年の途中よりは）。（玉庭保）
- ④川西1中の統合を経験したが、バス通学（大塚）がいやだった（先輩が怖いなど）。しかし、統合するなら早いほうが良い。皆と仲良くなるには早いほうが良い。遅いと変にグループが出来る。（玉庭保）
- ⑤6年生の保護者だが、犬川にスポ少がなくなった。大人数になれば何種類ものスポ少も出てくるのではないかと。交流も進む。悪い面、デメリットもあるかもしれないが、早めに統合した方が良いと思う。（犬川小）

⑥現在、子どもが9人のクラスだが、少人数だとグループが出来てしまい、視野を広げるためにも、他校との交流があるとありがたい。中学校に行って多人数になった時、自分を出せるかどうか心配（不安）である。今からやって行って欲しい。（大塚小）

⑦個人的に平成29年度22人、平成30年度17人と環境は良くない。運動会とか考えると2つに分けて11人ずつ。このままで成り立つか、様々な学校運営が厳しくなる。子どもたちの教育環境として良いのか。子どもが中学校（統合後）に入った時、不安があったが友達が広がって良かった。小規模の良いところもあり一概には言えないが、教育環境を第一に考えると、この頃（平成29年度）が一定の目途（潮時）ではないか。（東沢小）

⑧玉庭小は、早めに小松小に統合した方が良い。クラスの中で比較ができない。（1年生で男の子1人なので身体の成長度合いなど）小松から玉庭保育所に入っている子がいたが、小学校に行っても不登校になったという話を聞く。小規模校から大規模校（中学）へ行くことで、友達が少ないなどの問題も聞く。酒町（朴沢との境）だが、通学路も問題もある、消雪道を歩かせるのもどうか、登下校に支障がある。バスで小松小に行った方が良い。（玉庭小）

※統合やむなし、段階的統廃合意見

①いつか統合するとおもっている。（北斗幼）

②2校すぐではなく、段階的が理想ではないか。（中郡小）

③単式でいけるのであれば、存続してほしいと思う。複式になればやむを得ないと思う。将来的には仕方がないが、段階をふんでほしい。歩いて登校するには、体力面が心配なので、その辺を大事にしてほしい。単式ならばそのままいてほしい。（げんき保育園）

④子どもが3人学級の時になるが、複雑な気持ちである。自分は、40人学級5クラスでいてきたが、多すぎた。少人数でも良い面があるが、学年3人は少なく不安になる。学年1桁になれば統合の検討に入ってもいいのではないかなと思う。（犬川小）

⑤統合するなら、一気ではなくて、徐々の方がいい。段階的の方がいい、校舎が新しいので。（大塚小）

⑥メリット・デメリットだけだと、裏腹の関係のため決めかねる。何人になればいいのか決められない。子どもにとって何人が最適かは、はっきりわからないが、社会性なども考えると、2人とかは？ある程度の人数は必要と考える。統合はやむを得ないのかな。（東沢小）

⑦児童数の推移表を見れば、統合やむなしかな。他の学校との様々な交流会をたくさんやってもらおうと順応すると思うので、段階を経ていただきたい。（東沢小）

⑧統合は悪いことではない。経験上、小規模校から中学校（1校）に行ったとき、友達が少なかった（友だちづくりに苦労した）。一気に2校にしないで、徐々に統合した方が理想でないか。最終的に2校案を考えてはどうか。（吉島小）

※条件付き意見

- ①町道への歩道設置、県道への歩道設置をしてほしい。歩道が設置されないうちは、統廃合できない（反対）。安全が確保されないうちは賛成できない。（高山小）
- ②揺れるところであるが、やるなら早くやったほうが良い。しかし、人口流出が心配で懸念される。高齢者だけ残される。冬の通学が心配（除雪体制の充実や県道の整備など）。安全な通学路の確保やスクールバスの細やかな運行体制が図られることが、妥協につながっていくのではないか。（玉庭保）

※再編案の意見

- ①大変なのは3校（高山、東沢、玉庭）でやむなしか。4校は当面100人を保っていくなら、4校案を早く打ち出して、取り組んではどうか。柔軟にやってはどうか。（中郡小）
- ②犬川は中学校が小松であったが、小学校でもどうかと言われると、違和感・抵抗がないとは言えない。幼稚園が北斗なので、大塚小学校も選択の一つではないか。（犬川小）
- ③大塚幼稚園の時、大塚と犬川の子が一緒だった。できるなら大塚と犬川が一緒の小学校だと良いのではないか。学童も大塚を利用しているので。（大塚小）
- ④平成30年度に児童数17名と少子化が進んでいる。段階的に2校もありうるとのことだが、東沢は美郷幼に統合され、中郡、吉島、東沢がエリアだが？（東沢小）

※慎重意見

- ①個人的には反対、人数だけでどうかと思う。多ければ良いとは思わない。（中郡小）
- ②地域から小学校が無くなることへの寂しさや地域づくりへの不安、地域の中（目）で子どもを育てたいという思いの反面、子どもたちの将来のことを考えると判断しかねる。（玉庭小、東沢小）

※その他

- ①幼児施設再編や中学校統合に係る保護者説明への不満、旧二中の利活用等に対する意見が出された。（美郷幼・中郡小・吉島小）

小学校学区再編に関する懇談会（一般町民対象）の内容について

1 開催期間 11月14日から12月7日まで

2 参加者 総数 100名（7施設）

3 懇談内容

*全体的に見て

・将来的な統廃合の考え方について、参加者からは児童の推移（見込み）を見るとやむなしという意見が多かった。ただ、平成18年計画の2校案については、異論が多く、児童の減少が少ない（大塚・吉島）地区では、現状の児童数が維持できるうちは存続してほしいとの意見があった。また、玉庭・東沢地区では地域づくりの観点から慎重意見が多かった。

※推進意見

①2校案でなく、最終的に1校とした方が良く、どこに拠点を置くかは別問題として。4校⇒2校などの段階的な統合も仕方ないが。複数校案だと、地域間で、どこどこがくっ付きたくないなどの感情問題も発生すると思うので、1校案の目標年次を定めて、それまでのプロセスを決めていくのが良いのではないかと。様々な意見を聞いてもまとまらないと思う。平成×年に1校にしますと決めた方が良くと思う。（大塚）

②中学校を見て、統合に関して絶対反対という考えは、少なくなっているのでは。検討は、何年度をめどにやっていくのか。ある程度の人数の中で学んでいくことも大切だと思う。（小松）

※統合やむなし、段階的統廃合意見

①児童数の推移をみるかぎり、統廃合もやむを得ないのではないかと。（犬川）

②地区の中でも地区計画の見直しは、来年から始まるので学校の問題は真剣に話をし、考えていかなければならない。若い人の意見も聞きながら、どうしていくのか話をする機会を設けていかなければならない。判断できない難しい問題である。100%合意は無理でも6〜7割の賛成（合意形成）の中で進めるべきと考える。（玉庭）

③1桁が見えてくると、以前、新山と対等合併したことを思い出す。いずれやむを得ないと思う。いつということは示せないが、登校が1人になると心配。いづれにしても統合は、前向きに考えなければならぬ。不安を解消しながら進めるべき。複式の大変さも分かる。財政負担のないように計画的にお願いしたい。（東沢）

④中郡だけを考えれば、中郡小と高山小があるが、平成31年をみると高山小は20人を切ることになる。中郡小と高山小を一緒にすると130人前後となり、同じ地区だし良いのでは、一緒にするのも一つの考えではないか。（中郡）

※再編案の意見

- ①犬川は中学校が小松（新山・川中）であったが、幼稚園の時は北斗幼稚園に行っている
ので、大塚小学校との再編というのも選択肢の一つになるのではないかなと思う。（犬川）
- ②平場にもって行くパターンだが、東沢の教育環境は良い場所であり、平場から東沢に
来てもらうことも検討すべきではないか。色んなパターンの学校があっていいと思う。都市
部と同じではなく、活かす発想での統合を考えてほしい。（東沢）

※慎重意見

- ①資料No.3から、平成18年案は現実的ではない。吉島地区は人数が減らないし、まちづく
りでも学校を含めて地域づくりをしているので、吉島小は存続するだろうと思っている。
地域づくりの観点から考えてほしい。100年後等なら分かるが・・・。高山小、東沢小も頑
張ってきた経緯があり、そうしたところもしっかり見ていただきたい。ステージ2以上の
ところが当面の課題ではないか。（吉島）
- ②中学校統合の際も、いずれ小学校の統合もあるのではないかなといったニュアンスの話が
出ていた。地区としては学校がなくなることは地域の衰退につながる。安心して暮らせる
には小学校があるといい。経済圏は米沢になるので、米沢に移った方がいいと言う話もし
ている。深刻な問題になると思っている。学校があれば、家庭内でも地区に残る方向があ
るが、なくなれば米沢市等への流出が問題となり、大きな課題である。地区として、どう
していくか、なくなることはダメージが大きい。（玉庭）
- ③保護者の皆さんの言うとおりでと思う。しかし、小中併設の時もいずれなると思ったら、
10年で中学校が統合し、小学校もなくなると、地域の人口も減少し若者も減少する。地域
としては、施設がなくなると困る。施設はあって当たり前と考える。スクールバスで通学
している子供が、どう考えているか、大人の押し付けではないか。どうか。大人の考えで
子供を犠牲にはできない。平成31年度までは30人ぐらいでいるので、小学校はあってほ
しい。下から上がって来た方がいいのでは。住んでいることがいいことではないか。子供
がいなくなったら、自然とサルだけになる。子供の声があってこそ、大人が頑張れるの
ではないか。この自然環境で学べることは、少なくとも、そこに住んでいることの意義は大
きい。（玉庭）
- ④2校案は白紙ではなく生きているとのことだが、（仮称）第1小は児童500人程度にな
ると思う。米沢の場合、良い話を聞かない。大きすぎるのではないかな。東沢小では演劇を2
学年でやっており、感動を与えられた。米沢のような大きな学校だとコーラスぐらいで終
わっている。小学校の中で、どういう教育を行って、社会性や協調性を具体的に作って
いくのが大事だと思う。そういう教育のあり方を大事に考えてほしい。学力だけでなく地域
とのつながりや活動も考慮し、検討すべきではないか？（東沢）

⑤人口減少の流れの中で、統合はやむを得ないというか仕方ない気もする。コミュニティスクールの指定を受け、地域との関わりを強めようとして立ち上がってきたが、統合した際、地区独自の活動が無理になるのではないか。コミュニティスクールを全町に広げると聞いたが、頑張ってきた地域なので、一概にいかないのではないか。小さな地域でも、まとまって頑張ってきた経過がある（全戸加入のPTA、山村留学等）。いじめ不登校等も危惧される。数合わせ合理化に心配がある。住民との関わりを作っていけるのか、中学校の例もあるが、協力体制もつくれるか心配である。（東沢）

⑥近年、自然災害の中で、住民同士の絆づくり、地域の共助が大事だと言われてきている。関わり合いとして、東沢地区は小学校と地域住民が連携してやってきている。統合によって、学校の事業に地域住民が参加できなくなるのではないか。体育祭や収穫感謝祭での発表等、子どもたちの自信につながっている。町田の留学生も学力が落ちていない。果たして適正規模とはどうなのか？大規模が教育環境の向上なのか？住民との関わりが、本当につくっていけるかが不安だ。何か方策はないものか？（東沢）

⑦当時の２校案に決定した経過は？現在は当時から比較しても人数等社会環境も変化しているので、２校案を基本としなくても良いのではないか。ゼロベースで協議すべきではないか。（大塚）

⑧統合は将来的に仕方ない流れかと思うが、放課後児童クラブはどうなるのかその考え方について。地区には病院や学校、幼稚園、児童クラブなど、多くの恵まれた環境がそろっているのでは人が増えている状況だと思う。なんでかんで小松に集約すべきではないのでは。将来は小松中心でなく、地区をオープンにして再度、検討してほしい。（大塚）

⑨文科省の基準を除いて、町単独の１校当たりの児童数の基準はないのか？学校は地域のシンボルで活動の拠点であるので、なくなればさびれてしまう。地域から学校がなくなるのは大反対である。中津川の例だが、学校がなくなってからの地域はさびれぐあいが激しい。他市町のデータ検証は行っているのか。中学校は高校へのステップとして、ある程度の人数は必要だと思うが、小学校はその必要がない。今から、なぜ新たな計画を策定するのか分からない。平成１８年から地域でスクールガードを設置し見守りしながら、地域と学校との関わりを強くもっている。まずは、統合の話の前に住宅施策や若者定着化などの人口増対策の努力が必要でないか、やるだけのことをやってから統合の話をすべき。慎重に検討すべきではないか。それでも減少した場合は仕方ない。大塚に統合の話は合わない。（大塚）